

# ●集客エンタメ産業は瀕死の状態

## 集客エンタメ産業における、新型コロナ禍によるダメージ(ぴあ総研調査)

		売上消失額の年間計 (2020年2月～2021年1月) 【速報値】	2019年の市場規模 に対する消失割合	2019年の市場規模 (2019年1月～2019年12月)
公演・試合等が、中止・延期、 入場者制限等により <b>消失した</b> 、入場料金の総額		<b>▲8,600億円</b>	<b>▲75%減</b>	<b>1兆1,400億円</b>
内訳	音楽	<b>▲3,700億円</b>	<b>▲88%減</b>	4,200億円
	演劇	<b>▲1,600億円</b>	<b>▲76%減</b>	2,100億円
	映画	<b>▲1,200億円</b>	<b>▲46%減</b>	2,600億円
	スポーツ	<b>▲1,300億円</b>	<b>▲81%減</b>	1,600億円
	※その他ジャンル	<b>▲800億円</b>	<b>▲89%減</b>	900億円

※【その他ジャンル】=美術展、展覧会、文化イベント、花火大会、プロボクシング、プロレス、ライブビューイング、VR、舞台挨拶等  
…データ出典/映画産業は一般社団法人日本映画製作者連盟、その他の産業はぴあ総研速報値

- ◆対象は、国内で開催され、入場料が必要な、映画・音楽コンサート・演劇・ミュージカル・映画・スポーツ・その他イベント。市場規模は入場料売上のみで、物販・飲食・配信・企業協賛等の周辺売上や、観客の移動や消費に伴う交通費や宿泊費、その他の地域経済への波及効果(推計約10兆円)は含まれない。
- ◆音楽・演劇等の有料オンライン配信売上448億円(2020年/ぴあ総研調査)は、上記に含まれていない。